



たまエコ

2011
Vol. 54

Special

●多摩400万人のごみ情報誌

地域とともに 自然とともに

ニュース



発行：東京たま広域資源循環組合

〔事務局〕〒183-0052東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館内

TEL.042-385-5947 FAX.042-384-8449

http://www.tama-junkankumiai.com/



公園にもエコセメントが使われています

特集

エコセメント事業5周年記念

地球の未来のための リサイクル

稼働から5周年を迎えた2011年、
循環組合は、多摩地域のリサイクルの
一層の推進を図るため、エコセメント
製品の活用を拡大していきます。

焼却灰を再利用するエコセメント

皆さんが出した可燃ごみは清掃工場で燃やされ、
あとに残る焼却灰は、東京たまエコセメント化施設
でエコセメントに生まれ変わります。そして日本工
業規格（JIS）の定める安全性が確認された土木建築
資材として、普通セメントと同じように利用されて
います。これによって、埋め立てられる廃棄物の量
は大幅に減少し、二ツ塚処分場の有効活用が実現し
ています。また、エコセメント化施設は、震度7の地
震にも耐えられるように設計されています。



エコセメント化施設の全貌

これらのエ
コセメント事
業は海外から
も注目を集め、
各国から施設
見学者が訪れ
ています。



「ゆりーと」

「多摩国体」の施設に
エコセメントを活用

国体の施設にはエコセメントなど
環境に配慮した資材が使われます。

2013

平成25年

エコセメント事業稼働5周年

2011

平成23年

エコセメント
出荷50万トン達成

2010

平成22年



二ツ塚処分場全景

循環型社会形成推進功労者等
環境大臣賞受賞
(東京たまエコセメント(株))

2009

平成21年

エコセメント製品の認証制度開始

2008

平成20年

エコセメント事業が日本計画学会計画賞を受賞

2007

平成19年

焼却灰埋め立てゼロを達成

2006

平成18年

東京たまエコセメント化施設が落成

エコセメント事業のシンボルマーク
[エコタロー]



今後も埋め立てが必要な不燃ごみは、さらなる減量や分別の徹底、リサイクル化が求められています。
限りある処分場を、そして大切な地球を守るため、一人ひとりが意識して実行しましょう。



谷戸沢処分場

二ツ塚処分場
(東京たまエコセメント化施設)

…日の出町にごみを
搬入している自治体を
示しています

二ツ塚処分場・谷戸沢処分場(日の出町)を管理・運営している特別地方公共団体で、日の出町の皆さまの協力を得ながら、多摩地域25市1町の約400万人の可燃ごみの焼却灰をエコセメントとしてリサイクルし、資源として活用しています。また、不燃ごみの埋立をしています。皆さまと共にごみ問題の解決に取り組んでいます。

<http://www.tama-junkankumiai.com/>

裏面にエコセメント製品の利用例があります

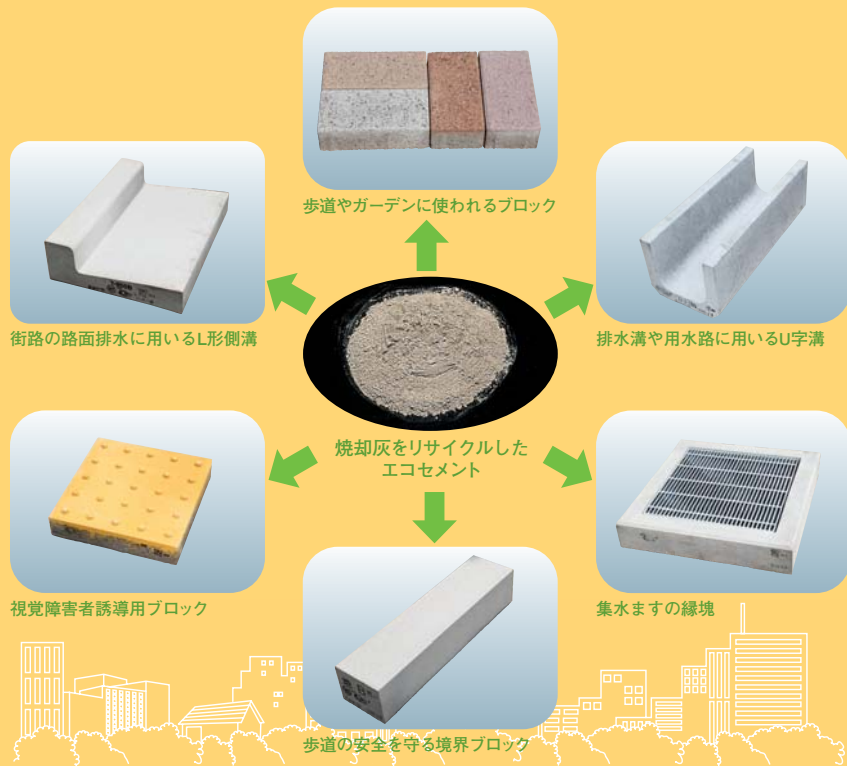


エコセメントはこんなところに活用されています！

街の安全と快適を守るエコセメント製品

エコセメント事業では、可燃ごみ焼却灰の全量をエコセメントにリサイクルし、資源の循環と最終的なごみの減量を図っています。リサイクルから生まれたエコセメントは、道路の側溝、縁石、歩道の舗装、そして公園のベンチなど、皆さんの街でもさまざまな形で幅広く活用されています。また平成25年に開かれる「多摩国体(スポーツ祭東京2013)」では、施設にエコセメントを積極的に利用するよう環境指針に明記されています。

東京たまエコセメント化施設で製造されるエコセメントを100%使用している製品には、エコセメント事業のシンボルマーク「エコタロー」が刻印され、環境保全につながる資源循環への貢献を示しています。



これもエコセメント



見学会参加者に人気の動物オブジェ(二ツ塚処分場)

セメントというと固いイメージしかありませんが、こんなお茶目な姿に変身することもできます。処分場見学会ではいろいろなエコセメント製品に触れ、より身近に感じていただくことができます。



エコタロー・ベンチ(みずほエコパーク/瑞穂町)

計画節電に備えて、みんなでできる

夏場のごみ減量は正しい分別から

多摩地域では住民の皆さんのご協力により、年々ごみの量が減っています。しかし、深刻な電力不足が見

込まれる今夏は、二ツ塚処分場やエコセメント化施設にも計画的な節電が求められており、施設の稼働に影響が出ることも考えられるため、さらなるごみの減量が必要となります。

たとえば、家庭で出る生ごみは、捨てるときに水分をよく切るだ

けでごみの量が減るばかりでなく、運搬時のエネルギーを削減し、清掃工場の節電にもつながります。気になるニオイを防ぐ効果もありますから、水分の多いごみが増える夏場には欠かせないごみのマナーです。同じく、夏場に増えるペットボトルなどの使い捨て容器も、徹底的に分別することでごみを資源に変えることができます。いま一度、ごみの正しい分別とマナーを守って、節電に協力しながらより一層のごみの減量にご協力をお願いいたします。



わたしのエコアイデア！ ごみ減量、実行してます！

生ごみの水切りで ごみ出し回数が激減！

不要になったCDの穴に水切りネットの口を通し、ごみをネットごとCDでギュウッと押し水分を絞ります。CDは何度でも使用でき、手も汚れません。



「夏休み処分場見学会」

参加者募集!

夏休み恒例の処分場バス見学会を開催します。自分たちが出したごみがどのように処理されているのか、確かめてみませんか。

- 期日：①8月5日(金) ②8月19日(金)
- 行先：①西多摩衛生組合、二ツ塚処分場、谷戸沢処分場
②小平・村山・大和衛生組合、二ツ塚処分場、谷戸沢処分場
- 時間：9:00集合～17:00解散(予定)
- 集合・解散場所：立川通り曙町2交差点付近(JR立川駅北口下車徒歩7分)
- 参加資格
 - 多摩地域在住の小学校4～6年生と18歳以上の保護者の2人1組
※小学生1人につき保護者1人が必要です。小学校3年生以下の方は参加できません。
 - 中学生以上の多摩地域在住・在勤・在学者(なるべく2人1組でご参加ください)

- 定員：各日40組80人(応募者多数の場合は抽選により決定します)
- 参加費：1人500円(昼食代)
※当日お支払いください。
- 申込み方法：往復はがき(1枚につき2人まで)に「見学会参加希望」と明記の上、参加される方全員の①氏名(ふりがな) ②年齢 ③住所 ④電話番号 ⑤携帯電話番号(お持ちの方) ⑥希望日 ⑦通勤・通学先(多摩地域在住以外の方のみ)を記入してお送りください。
- 申込期間：各日とも7月1日(金)～21日(木)(必着)
※詳しくはホームページをご覧ください。



昨年の見学会の様子

申込み・問合せ 東京たま広域資源循環組合「見学会」係 ☎183-0052 府中市新町2-77-1 東京自治会館内 ☎042-385-5947

一般廃棄物処分場建設差止等請求訴訟の勝訴が確定

平成23年4月26日、最高裁判所は組合が管理する一般廃棄物最終処分場の建設差止等を求めた訴訟について、原告側の上告棄却を決定しました。これにより、谷戸沢廃棄物広域処分場および二ツ塚廃棄物広域処分場の安全性が最終確認されました。

組合では引き続き最終処分場やエコセメント化施設の安全な管理・運営を図るとともに、環境にもより一層配慮して事業を進めてまいります。

東京たま広域資源循環組合

TEL:042-385-5947 FAX:042-384-8449

循環組合組織団体

循環組合は組織団体からの負担金で運営されています

八王子市 立川市 武蔵野市 三鷹市 青梅市 府中市 昭島市 調布市 町田市 小金井市 小平市 日野市 東村山市 国分寺市 国立市 福生市 狛江市 東大和市 清瀬市 東久留米市 武蔵村山市 多摩市 稲城市 羽村市 西東京市 瑞穂町

[たまエコニュース]の内容やごみ処理に関するお考えなど、皆さまのご意見を、お手紙、FAX、電子メールでお聞かせください。また、処分場の敷地内や周辺の土壌、水質など環境調査の結果をホームページで公表しています。

〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館内
東京たま広域資源循環組合[たまエコニュース]係
[メールアドレス] sijkumiai@tama-junkankumiai.com

<http://www.tama-junkankumiai.com/>